
薬学部学生に対する模擬服薬体験学習の教育効果

大学入学直後の学生の多くは慢性的な疾患などを有してはならず、長期にわたる服薬を経験したことがないと考えられます。薬を間違いなく飲めるようにするための指導には、実際に服薬したことのある経験が重要であると考えます。本研究では、授業の一環として模擬服薬体験を実施し、収集した服薬体験の遵守率やアンケート結果を後ろ向きに解析することにより、薬学部学生に対する模擬服薬体験の学習効果を明らかとすることを目的とします。

